



## 2021年6月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2021年8月10日

上場会社名 株式会社 ハンズマン

上場取引所 東

コード番号 7636 URL <https://www.handsman.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大園 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長兼経理部長 (氏名) 田上 秀樹 TEL 0986- 38- 0847

定時株主総会開催予定日 2021年9月29日 配当支払開始予定日 2021年9月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年9月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年6月期の業績(2020年7月1日～2021年6月30日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	34,068	9.3	2,569	17.9	2,846	18.3	2,009	22.3
2020年6月期	31,163	0.1	2,180	5.2	2,406	4.6	1,642	6.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年6月期	141.54		13.5	14.5	7.5
2020年6月期	115.14		12.2	13.0	7.0

(参考) 持分法投資損益 2021年6月期 百万円 2020年6月期 百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	20,330	15,682	77.1	1,101.91
2020年6月期	19,053	14,036	73.7	989.26

(参考) 自己資本 2021年6月期 15,682百万円 2020年6月期 14,036百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年6月期	2,092	430	785	3,903
2020年6月期	2,542	113	1,091	3,027

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年6月期		0.00		28.00	28.00	405	24.3	2.9
2021年6月期		0.00		30.00	30.00	434	21.2	2.8
2022年6月期(予想)		0.00		30.00	30.00		26.8	

### 3. 2022年6月期の業績予想(2021年7月1日～2022年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,062	11.3	1,038	35.9	1,152	35.3	760	38.0	53.34
通期	32,450	4.7	2,076	19.2	2,307	19.1	1,598	20.5	111.87

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期	14,509,800 株	2020年6月期	14,509,800 株
期末自己株式数	2021年6月期	277,300 株	2020年6月期	320,553 株
期中平均株式数	2021年6月期	14,200,102 株	2020年6月期	14,268,554 株

(注)ESOP信託口が保有する当社株式を「1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する株式に含めております(前事業年度228,492株、当事業年度296,923株)。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(持分法損益等) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、企業収益や景況感が悪化し、個人消費も落ち込むなど極めて厳しい状況で推移いたしました。ワクチン接種の広がりによる沈静化が期待されておりますが、感染拡大の収束時期は未だ見通せず、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社はお客様と従業員の安全を最優先に考えた店舗運営に取り組みながら、これまで同様「お客様の声」をもとにした品揃えの拡充と売場改装を積極的に推進するなど、より多くのお客様に喜ばれ、お役に立てる施策を継続的に実践しております。

当事業年度は、コロナ禍における巣ごもり需要を背景にD I Y用品やガーデニング用品の売上が大きく伸びたことに加え、感染症予防の関連用品や大型台風の接近に備えた対策用品の需要が高まった影響などもあり、全店ベースの来店客数は前期比104.4%、客単価は同104.7%となり、売上高は同109.3%の340億68百万円となりました。

利益につきましては、特売セール等の抑制等により売上総利益率が前期比0.5ポイント伸長の31.6%となり、売上総利益は前期比111.1%の107億58百万円となりました。また、販売費及び一般管理費は広告宣伝費が減少した一方で、総額表示への切替えに伴う費用の発生や人件費の増加等により前期比109.2%の81億88百万円となりましたが、増収及び売上総利益率の向上がこれを吸収し、営業利益は同117.9%の25億69百万円、経常利益は同118.3%の28億46百万円、当期純利益は同122.3%の20億9百万円となりました。

(注) 当社は営業開始後13ヵ月経過した店舗を既存店、13ヵ月未満の店舗を新店と定義しており、当事業年度においては全11店舗が既存店となることから、来店客数・客単価・売上高の各数値は全店(既存店)の数値となります。

部門別の業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

部門別	前事業年度		当事業年度		増減額	前期比
	金額	構成比	金額	構成比		
<D I Y用品> ホビー・木製品、建材、手工具、電動工具、金物、塗料、接着剤、園芸資材、薬剤肥料・用土、植物、エクステリア用品、石材	17,377	55.8%	19,495	57.2%	2,117	112.2%
<家庭用品> 家庭用品、日用品、インテリア用品、電気資材用品、収納用品、住宅設備用品、季節用品	9,685	31.1%	10,294	30.2%	608	106.3%
<カー・レジャー用品> カー用品、アウトドア用品、ペット用品、文具	4,099	13.1%	4,277	12.6%	178	104.4%
合計	31,163	100.0%	34,068	100.0%	2,904	109.3%

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における資産合計は、前事業年度末に比べ12億77百万円増加の203億30百万円となりました。これは主に現金及び預金が8億76百万円、商品が2億87百万円、土地が1億69百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ3億68百万円減少の46億47百万円となりました。これは主に未払金が1億35百万円、未払法人税等が1億10百万円増加した一方、買掛金が2億35百万円、長期借入金金が4億39百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ16億46百万円増加の156億82百万円となりました。これは主に剰余金の配当が4億5百万円あった一方、当期純利益を20億9百万円計上したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ8億76百万円増加の39億3百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、20億92百万円（前期は25億42百万円の取得）となりました。これは主に法人税等の支払額が7億53百万円、たな卸資産の増加額が2億94百万円、仕入債務の減少額が2億35百万円となったのに対し、税引前当期純利益が28億46百万円、減価償却費が4億68百万円となったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、4億30百万円（前期は1億13百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が4億95百万円となったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、7億85百万円（前期は10億91百万円の使用）となりました。これは主に長期借入金の返済額が4億39百万円、配当金の支払額が4億5百万円となったことによるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期
自己資本比率(%)	60.4	65.6	71.4	73.7	77.1
時価ベースの自己資本比率(%)	133.3	101.7	95.1	108.0	113.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.9	3.3	0.6	0.3	0.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	94.8	44.6	221.3	632.3	3,678.6

(注) 1. 各指標の計算式は以下のとおりであります。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2. 各指標は、いずれも財務数値により算出しております。
3. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
4. 営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を使用しております。
5. 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としており、また、利払いについてはキャッシュ・フロー計算書に計上されている「利息の支払額」を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の拡大はワクチン接種の広がりによる沈静化が期待されますが、現時点においては収束時期が見通せず、個人消費については当面低調な推移が予想されます。

先行き不透明で厳しい経営環境が続きますが、当社はこれまで同様「お客様の声」をもとにした品揃えの拡充と専門知識豊富な売場スタッフの育成に力を注ぎ、より多くのお客様に喜ばれ、お役に立てる施策を継続的に実践してまいります。

当事業年度はコロナ禍における巣ごもり消費の影響や感染症対策用品の需要の高まり等により売上が大きく伸びましたが、2022年6月期はその反動減が予想されることから、売上高は前期比95.3%の324億50百万円を見込んでおります。利益につきましては、売上の反動減の影響が大きいことに加え、大阪府松原市への新規出店(2023年6月期にオープン予定)に関する先行投資の発生もあり、営業利益は前期比80.8%の20億76百万円、経常利益は同80.9%の23億7百万円、当期純利益は同79.5%の15億98百万円を見込んでおります。

なお、新型コロナウイルス感染症が当社の業績に及ぼす影響は、直近の業績動向等を踏まえ予想を立てておりますが、不確実な要素も多いことから、今後、当社の事業活動に大きな影響を及ぼし、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の事業展開は現在国内に限定されており、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当事業年度 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,027	3,903
売掛金	449	429
商品	5,543	5,831
貯蔵品	31	38
前渡金	1	6
前払費用	97	77
その他	141	107
流動資産合計	9,293	10,394
固定資産		
有形固定資産		
建物	10,697	10,874
減価償却累計額	△5,783	△6,065
建物(純額)	4,914	4,808
構築物	1,416	1,578
減価償却累計額	△1,034	△1,068
構築物(純額)	381	510
工具、器具及び備品	2,158	2,251
減価償却累計額	△1,855	△1,927
工具、器具及び備品(純額)	303	324
土地	1,922	2,091
リース資産	199	201
減価償却累計額	△39	△68
リース資産(純額)	159	133
建設仮勘定	43	38
有形固定資産合計	7,724	7,907
無形固定資産		
借地権	175	178
ソフトウェア	37	34
その他	4	4
無形固定資産合計	217	218
投資その他の資産		
投資有価証券	47	39
長期貸付金	3	—
長期前払費用	69	48
繰延税金資産	237	263
投資不動産	1,247	1,247
減価償却累計額	△469	△479
投資不動産(純額)	778	768
その他	680	689
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,817	1,809
固定資産合計	9,760	9,935
資産合計	19,053	20,330

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当事業年度 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,204	1,969
1年内返済予定の長期借入金	439	160
リース債務	30	31
未払金	234	369
未払費用	414	511
未払法人税等	444	555
預り金	35	63
その他	265	220
流動負債合計	4,070	3,881
固定負債		
長期借入金	400	240
リース債務	141	112
資産除去債務	309	318
その他	95	94
固定負債合計	945	766
負債合計	5,016	4,647
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,057	1,057
資本剰余金		
資本準備金	1,086	1,086
資本剰余金合計	1,086	1,086
利益剰余金		
利益準備金	23	23
その他利益剰余金		
別途積立金	500	500
繰越利益剰余金	11,781	13,385
利益剰余金合計	12,305	13,909
自己株式	△404	△356
株主資本合計	14,045	15,697
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8	△14
評価・換算差額等合計	△8	△14
純資産合計	14,036	15,682
負債純資産合計	19,053	20,330



## (2) 損益計算書

	(単位：百万円)	
	前事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当事業年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
売上高	31,163	34,068
売上原価		
商品期首たな卸高	5,789	5,543
当期商品仕入高	21,263	23,626
合計	27,053	29,170
他勘定振替高	28	29
商品期末たな卸高	5,543	5,831
商品売上原価	21,480	23,309
売上総利益	9,682	10,758
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	458	350
従業員給料及び手当	3,433	3,771
福利厚生費	629	657
賃借料	707	704
減価償却費	479	468
その他	1,793	2,235
販売費及び一般管理費合計	7,501	8,188
営業利益	2,180	2,569
営業外収益		
受取配当金	2	2
受取手数料	149	151
投資不動産賃貸料	110	114
雇用調整助成金	—	44
その他	11	21
営業外収益合計	274	333
営業外費用		
支払利息	4	1
投資不動産賃貸費用	40	42
その他	3	13
営業外費用合計	48	57
経常利益	2,406	2,846
税引前当期純利益	2,406	2,846
法人税、住民税及び事業税	770	860
法人税等調整額	△6	△23
法人税等合計	763	836
当期純利益	1,642	2,009

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
				別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	1,057	1,086	23	500	10,501	11,025
当期変動額						
剰余金の配当					△362	△362
当期純利益					1,642	1,642
自己株式の取得						
自己株式の処分						
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	—	—	—	1,280	1,280
当期末残高	1,057	1,086	23	500	11,781	12,305

	株主資本		評価・換算差額等	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	△295	12,874	△8	12,866
当期変動額				
剰余金の配当		△362		△362
当期純利益		1,642		1,642
自己株式の取得	△269	△269		△269
自己株式の処分	159	159		159
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△0	△0
当期変動額合計	△109	1,171	△0	1,170
当期末残高	△404	14,045	△8	14,036

当事業年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
				別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	1,057	1,086	23	500	11,781	12,305
当期変動額						
剰余金の配当					△405	△405
当期純利益					2,009	2,009
自己株式の取得						
自己株式の処分						
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	—	—	—	1,604	1,604
当期末残高	1,057	1,086	23	500	13,385	13,909

	株主資本		評価・換算差額等	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	△404	14,045	△8	14,036
当期変動額				
剰余金の配当		△405		△405
当期純利益		2,009		2,009
自己株式の取得	△66	△66		△66
自己株式の処分	114	114		114
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△5	△5
当期変動額合計	47	1,651	△5	1,645
当期末残高	△356	15,697	△14	15,682

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当事業年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	2,406	2,846
減価償却費	479	468
受取利息及び受取配当金	△2	△2
支払利息	4	1
投資不動産賃貸料	△110	△114
投資不動産賃貸費用	40	42
雇用調整助成金	—	△44
売上債権の増減額 (△は増加)	△108	20
たな卸資産の増減額 (△は増加)	244	△294
仕入債務の増減額 (△は減少)	481	△235
その他	△15	111
小計	3,420	2,799
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△4	△0
雇用調整助成金の受取額	—	44
法人税等の支払額	△875	△753
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,542	2,092
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△173	△495
投資不動産の賃貸による支出	△27	△30
投資不動産の賃貸による収入	111	114
貸付金の回収による収入	9	9
その他	△33	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113	△430
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△585	△439
自己株式の取得による支出	△269	△66
自己株式の売却による収入	154	155
リース債務の返済による支出	△28	△28
配当金の支払額	△362	△405
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,091	△785
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,337	876
現金及び現金同等物の期首残高	1,690	3,027
現金及び現金同等物の期末残高	3,027	3,903

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の報告セグメントはホームセンター事業のみであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

当社は関連会社がないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当事業年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり純資産額	989円26銭	1,101円91銭
1株当たり当期純利益	115円14銭	141円54銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当事業年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
当期純利益 (百万円)	1,642	2,009
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (百万円)	1,642	2,009
普通株式の期中平均株式数 (株)	14,268,554	14,200,102

3. E S O P 信託口が保有する当社株式を「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行株式総数から控除する自己株式に含めております(前事業年度307,800株、当事業年度264,500株)。また、「1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前事業年度228,492株、当事業年度296,923株)。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。